

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは発表者、※は本学大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第5回宇都宮大学オプトバイオシンポジウム
演題名	群体性緑藻フタヅノクンショウモの無性生殖サイクルに関する光調節因子の解析
発表者	※宮本なるみ[2]、加藤翔太[1]、篠村知子[1,2] [1]帝京大・理工、[2]帝京大・院・理工
内容	群体性緑藻クンショウモは、多核化、細胞質分裂、遊走子の放出という段階を経て増殖する。本研究により、暗所でも糖を添加すれば多核化が進行すること、多核化後の遊走子・新群体形成を光照射が促進することが明らかになった。
関連画像	 